

お子様がどんな使い方をしているかご存知ですか？

—平成29年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 より—

内閣府が3月30日に発表した「平成29年度 青少年*のインターネット利用環境実態調査」の内容を簡単にまとめて、お伝えいたします。

*青少年…満10歳～満17歳

1 青少年のインターネット利用率は82.5%

青少年の82.5%（小学生：65.4%、中学生：85.2%、高校生：97.1%）がインターネットを利用しており、昨年度より約2ポイント上昇しています。

2 青少年が最もインターネットを利用している機器はスマートフォン(50.0%)

インターネットの利用機器はスマートフォンが50.0%でトップ、以下、タブレット(24.8%)、携帯ゲーム機(24.5%)、ノートパソコン(14.6%)が上位となっています。

スマートフォン保有率は、小学生では平成26年の17.1%から29.9%へ、中学生では平成26年の41.9%から58.1%へ上昇、特に中学生の保有率が大幅に上昇しています。また高校生の保有率は95.9%と、ほとんどの高校生が保有している（クラスで1～2名以外がスマホを持っている）状況です。



※インターネットに接続できる機器は身近にいろいろとあります。SNS（ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス）や掲示板、ゲームやアプリでの課金など、保護者の方々が気付いていない使い方をしていませんか？

3 青少年のインターネット利用時間は、1日約2時間半(159.3分)

1日の平均利用時間は159.3分（小学生：97.3分、中学生：148.7分、高校生：213.8分）で、年齢が上がるにつれて長時間になる傾向があります。特に高校生では5時間以上が26.1%、また高校生のスマートフォンでのインターネット利用時間は、2時間以上が71.5%を占めています。

利用内容について特に高いものは、以下の通りになります。

- (小学生) ゲーム…77.9%、動画視聴…63.6%
- (中学生) 動画視聴…80.3%、ゲーム…73.5%、コミュニケーション…70.4%
- (高校生) コミュニケーション…89.8%、動画視聴…84.9%、音楽視聴…83.3%

「**コミュニケーション**」は、小学生では 34.3%ですが、中学生では 70.4%と一気に増加、さらに高校生では 89.8%に達します。また「**動画視聴**」が平成 26 年から連続して増加傾向にあります。



4 保護者の取り組みについて

保護者の約 8 割 (84.4%) が、青少年のスマートフォン利用に関する何らかの取組を行っており、特に「フィルタリングを使用している」(44.0%)、「子どものネット利用状況を把握」(36.1%) が多くなっています。

また約 3 割の保護者 (28.4%) が「スマートフォンの利用時間等のルールを決めている」と回答しており、前年度より 1.8 ポイント増、一昨年度より 6.2%ポイント増となっています。

しかしその一方で、インターネットの利用に関する家庭のルールについて、「ルールを決めている」と答えた保護者が 83.5%だったのに対して、青少年は 65.1%と、青少年の実態と保護者の認識に大きなギャップが存在しています。



Q, 「インターネットの利用についてルールを決めている」

青少年総数： 65.1% ⇔ 保護者： 83.5% (その差 18.4 ポイント)

- 小学生： 72.7% ⇔ 小学生の保護者： 91.5% (その差 18.8 ポイント)
- 中学生： 71.3% ⇔ 中学生の保護者： 86.7% (その差 15.4 ポイント)
- 高校生： 52.8% ⇔ 高校生の保護者： 74.5% (その他 21.7 ポイント)

何のためにインターネットが必要なのか、どのように使うのかなど、お子様と話し合い、適切なインターネットの利用を促しましょう。

<出典>

- 内閣府「平成 29 年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果」

http://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/net-jittai_list.html

福井県では、青少年のネット非行・被害に関する情報の配信事業を実施しています。

「家庭の日」推進テーマ4月「木や草花を大切にし、美しい花を咲かせよう」

「青少年育成の日」推進テーマ4月「近隣との会話を増やし、楽しい地域を築こう」

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】 福井県安全環境部県民安全課

☎:0776-20-0745 (直通) メール: kenan@pref.fukui.lg.jp